

令和5年度 東京都・児童生徒の学力向上を図るための調査(4・5・6年生)

令和5年5月～6月実施 4～6年生対象 オンライン回答 全回答数 230名

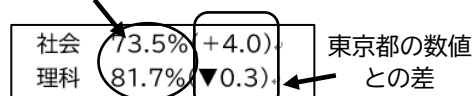
(子供たちの学習に対する意欲や実態を知るためのアンケートです。教科のテストではありません。)

表記について

- ・東京都全体の数値と比較し、本校児童の回答の結果が下回った場合は▼がついています。
- ・()内の数字は、東京都の数値との差です。

※表の見方※

本校の児童の割合



調査結果から見る田柄第二小学校の児童の傾向【一部抜粋】

①各教科の授業の内容に対する理解及び得意と感じる意識の程度

授業の内容はどのくらい分かりますか？ (よくわかる・どちらかといえばわかる)	教科の学習はどのくらい得意ですか？ (よくわかる・どちらかといえばわかる)
理科 93.1%※1(▼0.8)	理科 81.7%※1(▼0.3)
国語 90.5% (▼2.4) ※3	算数 78.8% (+4.3) ※2
算数 90.4% (▼0.5) ※2	社会 73.5% (+4.0)
社会 87.3% (▼2.2)	国語 64.8% (▼3.4) ※3

本校の児童は、**※1**理科の理解度が高く得意だということが分かります。さらに平均との差を見ると、**※2**都の他の児童より算数を理解して得意と思う子が多いことが分かります。**※3**国語については、平均との差が大きく苦手意識があるようです。

②学習の動機

しっかり考えられるようになりたいから※4	90.5%(+4.8) ※4
分かることやできることが楽しいから	87.8%(+3.2)
将来の仕事や生活に役立つから	86.9%(+0.4)
友達や先生と学習することが楽しいから※5	86.5%(+3.7)
学校の学習で人に負けたくないから※5	51.3%(+5.7)
先生や家の人に褒められたり、ご褒美をもらえたりするから※5	47.0%(+3.7)

※4よく考えながら学ぶ児童の姿が見えてきます。**※5**身近な人とかかわりが学習の意欲につながっているようです。

③学習の進め方

集中して学習に取り組んでいる ※6	93.0%(+5.8)
学習の途中で分からないところやできないところはどこかを考えている ※6	88.7%(+11.2)
大切な言葉や公式などは、意味を理解して覚えるようにしている ※6	86.5%(+0.1)
どうしてそうなるのかという理由を考えながら学習している ※6	84.8%(+7.6)
難しいと感じる問題でも、最後まであきらめずに取り組んでいる	83.9%(+1.5)
分からないことがあっても、学習を続けるようにしている	83.1%(▼0.6)
テストで間違えたときは、なぜ間違えたのかを考えている	78.6%(+1.6)
答えだけではなく、考え方も確かめながら学習している	77.4%(+0.4)
分からないときは、他の人や先生に質問して解決している ※7	74.8%(▼1.4)
どうやったらうまくいくかを考えてから学習を始めるようにしている	73.5%(+3.9)
学習をしてもできるようにならないときは、学習の方法を工夫している	70.5%(+1.9)
他の人と相談して、考えを深めるようにしている	68.7%(▼1.4)
自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている	66.2%(+3.8)
学習していて分からない言葉があれば、すぐに調べるようにしている ※7	61.7%(▼2.1)
確実にできるようにするまで、繰り返し練習している ※7	61.3%(▼5.0)
他の人と意見が違った時は、質問して相手の考えを確かめている ※7	56.5%(▼2.8)

※6学習に集中し、意味や理由をよく考えながら取り組む児童の実態が見えてきます。主体的に学ぶ姿勢が身についてきていると考えられます。一方で、**※7**分からないことや間違えた問題等に対する向き合い方については、対策が必要です。「分からない・できない」まま学習を進めないよう、児童の状況を良く把握しながら指導していきます。

令和5年度 全国学力・学習状況調査(6年生)

令和5年4月実施 紙面回答 全回答数76名

国語 (正答率%) 網掛けの部分は都・国の両方の平均を上回っています。

	評価の観点		学習指導要領の内容			解答形式			国語全体
	知識・技能	思考・判断・表現	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	選択式	短答式	記述式	
田柄二小	72.4	69.9	72.9	28.0	80.9	77.8	68.0	73.6	71.0
東京都	71.6	67.0	73.5	28.9	73.2	75.9	66.4	62.7	69.0
全国	68.9	65.5	72.6	26.7	71.2	73.6	51.4	51.1	67.2

全体的に、都平均・国平均を上回る結果が多く見られます。これまでの学習の積み重ねの成果だと考えられます。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の内容については、日々の授業の中において、自分の考えを発表する機会を数多く設けるなどし、【自分の考えを書いてまとめる→他者に伝える】という活動を通して、力を伸ばすことができるよう指導していきます。

★実際の問題です。このように、いくつかの資料を読み取った上で解答する形式の問題が多いです。

4
運動の効果や回数

3
運動の場所や種類

2
運動の回数や場所

1
運動の効果や種類

1
相田さんが選んだ「資料1」と「資料2」に書かれている内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

資料をよく読み、内容を要約する力を求められる問題です。
長い文章をしっかり読みこむ経験の積み重ねが大切です。

運動で健康な体をつくろう！

運動には、筋力や持久力などを高めるほかに、病気への抵抗力^{たいこうりき}を高める効果もあります。また、運動によって気持ち^{きもち}がリフレッシュするなどの効果もあります。

どんな運動をするといの？

運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腹筋運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体の柔らかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休み時間の外遊び、犬の散歩、階段の上り下り、荷物運びなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくると効果的です。

主に持久力を高める運動の例

主に筋力を高める運動の例

軽いジョギング

縄とび(続けてとぶ)

腹筋運動

腕立てふせ

4
◇ 持久力を高める運動
たくさんさんの酸素を取り入れながら続ける
・ ぶっさん運動
・ うで立てふせ

3
◇ 持久力を高める運動
しゅん間的に大きな力を出す
・ ぶっさん運動
・ うで立てふせ

2
◇ 体のやわらかさを高める運動
しゅん間的に大きな力を出す
・ うで立てふせ
・ 縄とび(続けてとぶ)

1
◇ 体のやわらかさを高める運動
しゅん間的に大きな力を出す
・ ぶっさん運動
・ うで立てふせ

◇ 持久力を高める運動
たくさんさんの酸素を取り入れながら続ける
・ 軽いジョギング
・ 縄とび(続けてとぶ)

ア

2
相田さんは「資料1」と「資料2」を読んで分かったことをメモにまとめています。次の「相田さんのメモ」のAに当てはまる内容として最も適切なものを、下の1～4までの中から一つ選んでその番号を書きましょう。

相田さんのメモ

相田さん

2
相田さんの学級では、健康に過ごすために、複数の文章を選んで読み、自分ができそうなことを考えてまとめることにしました。次は、「相田さんの考え」と、相田さんが知りたいことを調べるために選んだ「資料1」、「資料2」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

相田さんの考え

ぼくは、運動の面から考えてみたい。運動をすると健康にどんないいことがあるのかな。

「資料1」運動について書かれた本の一部

運動は、体力の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで適度に運動をすることが大切だと言われています。私たちが日ごろ行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくさん酸素を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋肉の力を高める運動などです。生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じた運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

算 数

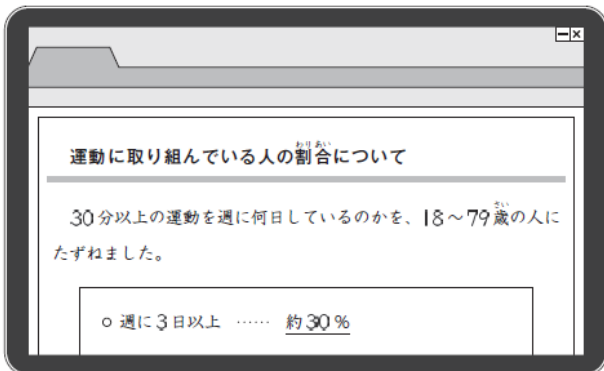
(正答率%) 網掛けの部分は都・国の平均を上回っています。

	評価の観点		学習指導要領の内容				解答形式			算数全体
	知識・技能	思考・判断・表現	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	選択式	短答式	記述式	
田柄二小	75.9	66.3	75.1	62.7	78.0	72.4	68.3	80.8	60.0	72.0
東京都	71.5	61.2	71.0	54.8	75.8	67.3	63.2	78.0	52.4	67.0
全 国	67.2	56.5	67.3	48.2	70.9	65.5	57.7	74.7	47.3	62.5

すべての項目において都・国の平均を上回りました。小学校で学ぶ内容の定着が見られます。引き続き算数を楽しく学び、基礎を身に付けていけるよう授業の改善を図ってまいります。

★実際の問題です。学校生活の中での課題を想定し、それを解決していく内容の問題が多いです。

あいさんは、毎日を健康に過ごすためには、運動、食事、休養・すいみんが必要であることを学習しました。そこで、インターネットで運動について調べると、下のような記事を見つけました。



1日に30分以上の運動を、週に3日以上している人の割合は約30%なのですね。

- (1) 30%について考えます。割合が30%になるものを、下のアからオまでの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 100人をもとにした0.3人の割合
- イ 100人をもとにした3人の割合
- ウ 100人をもとにした30人の割合
- エ 10人をもとにした3人の割合
- オ 30人をもとにした1人の割合



運動カードを見ると、運動した時間の合計が30分以上になった日もなかった日もありました。

- (2) あいさんたちは、5年生と6年生が30分以上の運動を週に何日しているのかを調べてみたいと思い、委員会の活動として運動カードを作りました。



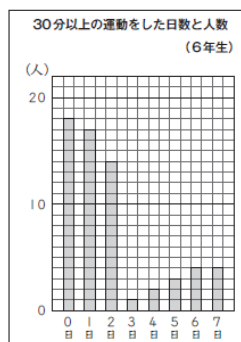
5年生と6年生に運動カードを配って、運動した時間を記録してもらいましょう。

下の運動カードは、あいさんが5月9日から5月15日までの1週間に運動した時間を記録したものです。

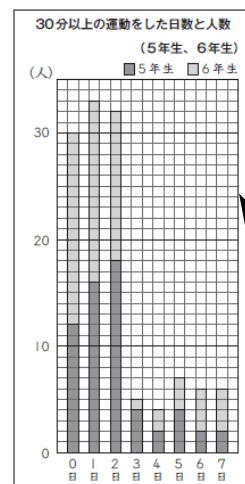
運動カード							
日にち	運動した時間(分)						運動した時間の合計(分)
	体をばす・ほぐす運動	遊具を使った運動	走る運動	縄とび	ボールを使った運動	その他	
5/9(月)	10				25		35
5/10(火)	5			10	15	10	40
5/11(水)	10			5		15	30
5/12(木)	5			10			15
5/13(金)	5					10	15
5/14(土)			20		35		55
5/15(日)		10			35		45



自分の学年である6年生の結果を表しました。



5年生と6年生を合わせた結果を表しました。



データを票やグラフにまとめ、そこから読み取れることを根拠に基づいて説明する設問です。数値に着目することはもちろんのこと、筋道を立てて論じる力が求められます。

…設問は続きますが、以下省略

調査結果 からの考察

以上の結果から、本校児童の学習状況を次のように捉えることができると考えます。
○理数系に意欲があり得意意識がある。
○主体的に考えながら、他者とのかわりを意識して学んでいる。
○分からない・間違えた問題に対して丁寧に向き合う必要性がある。
これらの現状を踏まえながら、授業改善に取り組んでまいります。

学校評価アンケートを実施します

オンライン回答

本校の日頃の教育活動についてや子供たちの様子に関すること、さらには今回の調査報告等を踏まえ、学校評価アンケートを実施し、保護者の皆様のご意見を伺いたと思います。

12月4日（月）にメールにて配信いたしますので、ご回答よろしくお願いします。

質問内容は以下の通りです。

- ①お子さんは、毎日楽しく学校に通っている。
- ②お子さんは、積極的に学習に取り組み、学んだことを理解している。
- ③お子さんは、積極的に運動に取り組み、体を動かすことを楽しんでいる。
- ④お子さんは、学校のルールや家庭のルールを守って生活をしよう意識している。
- ⑤お子さんは、自分から進んで、元気よくあいさつすることができる。
- ⑥お子さんは、いじめが良くないことだと理解し友達のよいところを認め仲良くしようとしている。
- ⑦お子さんは、悩んだり困ったりすると、自分から家族や先生に相談することができる。
- ⑧お子さんは、健康や安全に気を付けて生活することができる。
（感染症予防や交通安全等）
- ⑨お子さんは、学校行事（体育発表会／学習発表会など）を通して、成長したと感じる。
- ⑩お子さんは、タブレット端末を、学習に活用することができる。
- ⑪学校は、教育活動に必要な連絡や情報を保護者にわかりやすく伝えている。
（配布物やメール、ホームページ等）
- ⑫学校は、お子さんが生き生きと取り組み力を伸ばすことができるような授業や行事の工夫・改善に努めている。
- ⑬学校は、お子さんの人権を尊重し、努力を認めたり励ましたりして、温かく接している。
- ⑭学校は、連絡や相談がしやすく、適切に対応している。
- ⑮その他（自由記述）

学校評価アンケート期間 令和5年 12月1日(金)～10日(土)

○オンラインによる回答 ○お子さん1人につき、1回答

※紙面回答からオンライン回答への移行により、回答率が下がる傾向があります。

より多くのご意見をいただくためのご協力をお願いします。